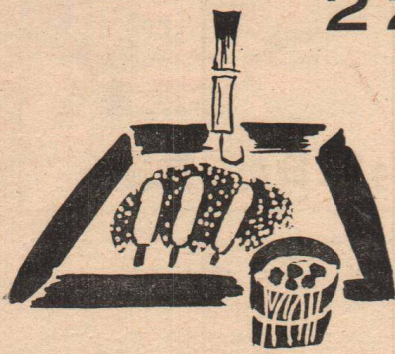


228人が社会に巣立つ

—新中卒者の進学と就職状況—



ことしも各学校の卒業期を迎えました。すでに市内の高等学校では卒業式を終え、卒業者はそれぞれの道に向かってすこやかに成長していくことでしょう。

一方、市立中学校の場合は、3月15日から18日の間に卒業式を全部終える者は高校へ、ある者は未知の社会へと巣立っていく。

親しかった友、やさしかった先生、そしていままで育ててくれた両親などの別離は、深い悲しみの中につつまれているものの「未来の大館、ひいては未来の日本を背負って立つ、日本の底力だ」という自信をかみしめながら、それぞれの道に希望をもって、歩んで欲しいと思う。

市立中学校の進学と就職状況

《進学状況》

市内には9校の市立中学校があります。ことしの卒業者は全部で1,289人、この中、進学を希望した人は961人で卒業者の75%をしめています。(男43人、女525人)

各学校別の進学状況を調べてみると

- 一 中……339人(82, 6%)
- 二 中……143人(77, 2%)
- 三 中……182人(81, 8%)
- 長 木 中……48人(80%)
- 雪 沢 中…… 9人(41, 3%)
- 下川沼中……49人(80, 3%)
- 上川沼中……25人(86, 5%)
- 南 中……70人(53, 4%)
- 成章中……86人(59, 7%)

～となっており、都市部の中学校の進学率が高率をしめていることがわかります。

一方、進学先については、公立高校への進学が圧倒的に多く、進学者総数の91%(874人)をしめています。その次に多いのが、技術を養成する各種学校で68人(うち女が65人)、ついで私立高校の19人、となっています。

進学先の学校とその人員について調べたのが、つぎのような状況です(カッコ内は女)

- 鳳鳴……114人(29人)
- 桂 ……(236人)
- 商業……76人(21人)

- 南 ……49人(122人)
- 花岡……107人(16人)
- 鷹巣……45人(7人)
- 米内沢……(11)
- 小坂……20人(6人)
- 十和田……6人(11人)
- 能 工……6人(0)
- 秋 工……6人(0)
- 敬 愛……(8人)
- 経大附属……1人(0)
- 合 川……4人(0)
- 東奥義塾……2人(0)
- 柴 田……(3人)
- 日大三島……1人(0)
- 各種学校……3人(65人)

《就職の状況》

つぎにいろいろの事情で進学できなかった人や、自から進んで社会にとびこんだ人たちの状況について調べてみよう。

卒業者総数1,289人のうち、就職を希望している人が328人で、全体の25%をしめ、年々就職者が減少してきています。

ことしは、企業界の若年労働者不足から、どこの会社でも中卒者が引っぱりだこで、就職先は大手会社が多く、日立製作所、日本鉱業、ソニー、東芝等への就職者がめだちます。

各学校別の就職者状況を調べてみると。

- 一 中……71人(17, 3%)

- 二 中……42人(22, 8%)
- 三 中……41人(18, 2%)
- 長 木 中……12人(20, 0%)
- 雪 沢 中……27人(58, 7%)
- 下川沼中……12人(19, 7%)
- 上川沼中……4人(13, 8%)
- 南 中……61人(46, 6%)
- 成章中……58人(40, 3%)

となっており、雪沢中学校の場合、卒業者の半分以上が就職(このうち、女8人が家事従事)を希望していることが特にめだちます。

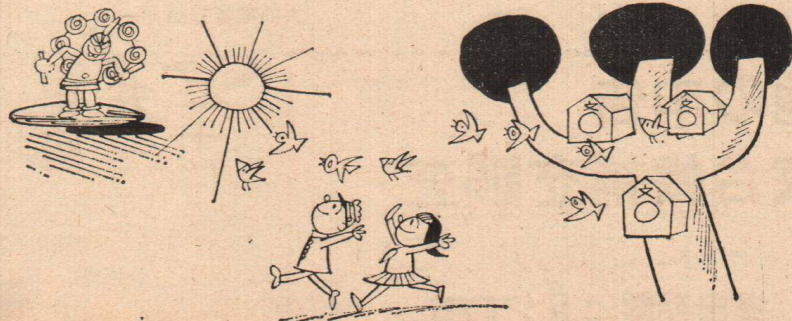
また、就職先を県内、県外別に分けると、次のような状況になります

- 県外の就職者 123人
- 県内の就職者 21人
- 市内の就職者 109人
- 家事従事者 38人
- 補導所への入所者 36人

この状況からみても、いぜんとして県外への流出が多いことがわかりますが、反面、市内の会社等に就職する人が例年になく増加したことは、ことしの特長であります。市内における労働力の確保という点から考えてみても、非常によい傾向だと思えます。

年少にして社会にとびこむこの新卒者の前途は、多難なものがあると思いますが、自分の仕事、そして自分の職業に誇りを持って励んでいただきたいと思う。

巣立つ若鳥



表は明るい
陽ざしばかり
ではない
風の日も雪の日
もある
元気でいこう